

今日は放クラのみんなと海に来ていますっ!

ちよっとお手洗い行ってきますねっ

「果穂、迷わないよう、気を付けてね」
「えへん、大丈夫です!」

「ほんとですかっ!」
「やりますっ!」
「やらせてください!」

「あ、あのっ、そのキミ!」
「…?もしかして、あたしですか!」
「そうそう、キミ!」

「今ドラマの撮影してるんだけど急に体調悪くなっちゃった子がいてその子の代役を探してるんだけど、キミどうかかな?」
「知ってるかわかんないけど、『ジャスティスV』って番組なんだけど…」

「ほんとにっ?」
「すっごい助かるよ」
「ちなみに 楽屋兼更衣室として あの車使ってるんだけど」
「もしかして 今すぐとか大丈夫かな?」
「はいっ大丈夫ですっ!」

「このなかですよね?」
「そ、そ、はやくはいつて!」

「あっ、そのちなみにあたしの役で……」
「大丈夫大丈夫 中で説明するから!」



きゃッ!

「改めてみるとかわいいねキミ、名前は？」

「果穂です…」

「果穂ちゃん、今から何やるかわかる？」

「じゃ、ジャステイスVの撮影って…っ」

「WWW」

「んなわけないじゃん、後ろのお兄さんたち
ちんこ出してんだぜ？」

「じゃ…じゃあ、なにするんですかっ」

「なにして…WWW」

「あ、もしかして処女？」

「発育いいから」

「勘違いしちゃったよ」

「ま…言葉でいうよりやった方が早いよな」
「ほら、ちんこ舐めて」

「いいから早くちんこ
しゃぶれってッ！」

「や、やです！」
「ばっちいですがからっ」

「うっ…やべっ、きもちーっ」

「ちよっ歯立てんなって」

「あ、でも意外といいかも、これ」

「うっせえよバカ」

「ははWWWお前の
ちんこ汚ねえってよWWW」

「うっ」
「ナニWWW？お前
もう出したの？」
「早漏かよ」

「ハニニハニニハニニハニニ」

「やべっ、喉奥

「気持ちくてもまだ出てる」

「おいおい、開始そうそう
壊すんじゃないぞ？」

(んん…息できなく死んじゃう…ツ)

「ほら、あともうちよっと…」
「つぶはっ…げほっげほっ…」

「うわ、すっげえ
まんこかわいい…」
「おれ先入れるわ
もー我慢できね…!」

「きつつ……」
「これ膣肉どうなってんだよ…」
「ちんこ喰い千切られそうw」

「やっ、あんっ」
「いたいっ、
早く抜いてくださいっ」

「あー、やばいこれ」
「あっ、あうっ、あッ」

「あーっ、でるッ」
「ごめんごめん
つい気持ち良くて
中出しちゃったわ」

「おい、左手も忘れずにちんこ
手でしこしこするんだぞ?」

(だ…だれか…)

「そうそう、もっと
ベロ使って
ちんこ全体なぶって」

(来て……)

「ほらほら、もっとお兄さんの
ザーメン欲しいよね」

「ん？ん？」

「子宮もはやく欲しいって？」

「おうツ♡おう♡おほ♡」

「おっけー、もつと腰
速く動かしてあげるッ」

「あああああああッ♡
(でちゃうっ、でちゃうっ………)

「んっ♡んっ♡」

「どうしたの？」
「もしかして気持ち良くて
失禁しちゃった？」

「あッ♡おっ♡あぁ♡」

「じゃあ次はこっちの穴も使っていいっか」

「なッ!?おしりにそんなのはいるわけないですッ」
「大丈夫大丈夫、お尻もザーメンでぬるぬるだから」

「ほら、ぜんぶはいった」

「ひゃあッ!!!!!!」

「もうすっかりまんこも
どろどろになっちゃったね」

「お、まんこ空いてんじゃん」
「!？」
「だ…だめっ…そんな…
ふたつもおおなかにはいんないっ」

「ああああああっ♡」

(あつい…あたまもおなかも
溶けだしちゃいます…)

『せーっのー!』

「ああああああっ♡」

ああああああっ♡

(樹里ちゃん…ちよこ先輩…
凜世さん…夏葉さん…
そしてプロデューサーさん…)

「ぐすっ…」

(あたしヒーローに
なりたいのに…悪者に
負けちゃいました…)

「ん…」









